

令和4年度「横浜トリエンナーレに関するアンケート」 集計結果の活用状況

アンケートテーマの担当部署が、アンケート結果をどのように受け止めたのか、事業にどのように活用しているのかなど、集計結果の活用状況をご紹介します。

1 アンケート結果の事業等への活用状況

Q3、Q4、Q5の展覧会の内容、開催場所、開催時期についての回答、また、Q6のオリジナルグッズについての回答が、横浜トリエンナーレ第8回展の準備に際して非常に参考になりました。ご回答いただいたアンケート結果は、今後、事業企画を進める際に活用させていただきます。

2 アンケートを実施した感想

Q2の「横浜トリエンナーレを知っていますか」に対して、81.8%の方が「聞いたことはある・知っている」と回答されていることから、多くの方が横浜トリエンナーレを認知していることがわかり、たいへん励みになりました。

Q5の「横浜トリエンナーレの開催時期」について、前回展までは夏に開催していましたが、「イ 夏(6～8月)」と回答された方が2.4%と予想以上に少なかったため、今後の参考にしていきたいと思えます。

Q10の「美術館に行かない理由」について、「カ きっかけがない」と回答された方が最多の35.7%であったことから、横浜トリエンナーレがアートに親しむきっかけとなるよう、より工夫して開催していく必要があると感じました。

3 担当部署のeアンケートメンバーへのメッセージ

このたびは、アンケートにご協力いただきありがとうございました。

自由意見欄も含め、横浜トリエンナーレに対する率直なご意見を多数いただき、大変参考になりました。

横浜トリエンナーレは、「アートでひらく」「世界とつながる」「まちにひろがる」の3つを目標に、2001年から20年以上継続して、横浜から世界最先端の現代アートを発信してきました。今後も引き続き、本格的な国際展を目指しつつも、より市民の皆様が親しまれる、参加しやすい催しとなるよう、検討を進めていきます。

今後とも横浜トリエンナーレをどうぞよろしくお願いいたします。

担当：文化観光局文化プログラム推進課

ヨコハマeアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。